



# ぎふ保環研だより

## 特定外来生物について

「特定外来生物」は、もともと日本にいなかった海外起源の外来種のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものとして、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）により規定されています。

現在、動植物あわせて156種（最終更新：令和3年8月13日）が「特定外来生物」として指定され、その飼育・栽培・保管・運搬、輸入、販売・譲渡、放出などが原則禁止され、防除等を行うこととされています。

## 県内の複数の地域で「アルゼンチンアリ」が確認されました

最近、特定外来生物である「アルゼンチンアリ（図1）」が県内の複数の地域で相次いで発見されています。

国内では平成5年に広島県廿日市市で初めて発見され、現在までに岐阜県を含む13都府県で確認されています。県内でアルゼンチンアリが確認されているのは、表1に示す5市町です。これらの市町では、緊急防除範囲を中心として生息状況調査を行ったうえで、一斉防除を実施しています。

アルゼンチンアリは南米原産の小型のアリで、毒は持っていませんが、屋内に侵入し、台所の食べ物に群がるなど不快感を与えるほか、繁殖力が旺盛で在来のアリを駆逐したり、農作物へ被害を及ぼしたりすることがあるため、防除が必要です。

アルゼンチンアリの疑いがあるアリを見つけた時、肉眼でも個体の特徴を確認することで、日本在来のアリと見分けることができます。同定には、顕微鏡を用いてより細かい形態的特徴を確認します。

表1 岐阜県内におけるアルゼンチンアリの確認

	確認年月	市町
1	平成19年3月	各務原市
2	平成24年10月	加茂郡坂祝町
3	令和3年9月	可児市
4	令和4年4月	美濃加茂市
5	令和4年6月	美濃市

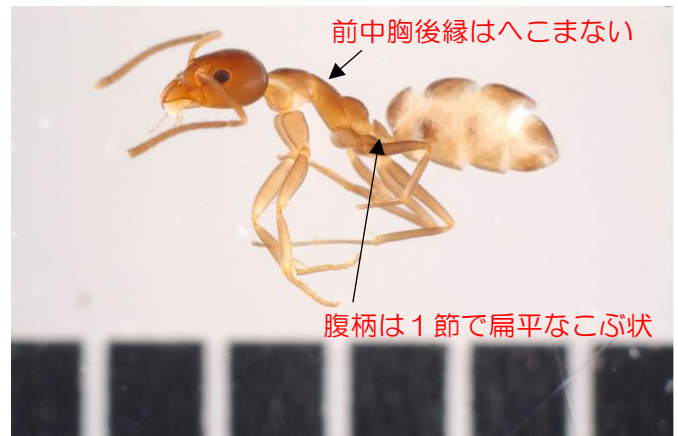


図1 アルゼンチンアリ  
「日本の外来種対策」（環境省）（<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>）を加工して作成

### <肉眼によるアルゼンチンアリの見分け方>

- 体の色は茶色（赤褐色～黒褐色）。
- 体のつや、赤みが弱く、色の濃淡がない。
- 体の大きさは2.5～3.0mm程度。
- 在来のアリと比べてスマート。
- 長い触覚を持つ。
- 腰のくびれは目立たない。
- 動きが素早く、多数で行列を作る。

### <顕微鏡によるアルゼンチンアリの同定>

- 複眼は頭部の前方に位置する。
- 腹柄は1節で扁平なこぶ状。
- 前中胸後縁はへこまない。
- 腹部末端は割れ目状に開口する。

## 岐阜県の特定外来生物への対応について

岐阜県では、特定外来生物のうち、県内での定着が極めて稀（既知の定着地域を除く）、もしくは生息が確認されていないもので、人に危害を加えるおそれのあるもの及び周辺環境への被害が甚大と思われる以下の6種を、「緊急に防除すべき特定外来生物」とし、発生時に初動対応を行います。

爬虫類：カミツキガメ

昆虫類：アルゼンチンアリ、ハヤトゲフシアリ、ヒアリ類、コカミアリ

クモ・サリ類：ハイイロゴケグモ

各県事務所又は岐阜地域環境室（以下、「県事務所」という。）は、「緊急に防除すべき特定外来生物」と疑われる個体の発見の連絡を県民、市町村、警察署等から受けた場合、同定、捕獲、周辺調査を実施します。県事務所が同定に苦慮する場合には、保健環境研究所（又は有識者）が同定を行います（カミツキガメ以外の場合）。県事務所は個体の確認後、関係機関と協力して防除を実施します。また、個体の同定状況や防除実施経過等について、必要な都度、県庁環境生活政策課が公表を行います。

なお、ヒアリ類に関しては、環境省が「ヒアリ相談ダイヤル」（0570-046-110）を開設していますので、ヒアリと疑わしきアリを発見した場合等に電話相談することができます。

## 当研究所での同定検査について

アルゼンチンアリ、ハヤトゲフシアリ、ヒアリ類、コカミアリ及びハイイロゴケグモの発生が疑われる事案において、県事務所での疑いが否定できない、もしくは個体の破損等により判断が付かない場合には、当研究所で同定検査を実施しています。

当研究所では、デジタルマイクロスコープ（図2）を使って個体の特徴を確認し、迅速な同定検査に努めています。令和元年度からの検査状況は表2に示すとおりです。



図2 デジタルマイクロスコープ

表2 保健環境研究所における特定外来生物の同定検査

年度	検体数	検査内容
令和元年度	6	ヒアリ・アカカミアリ疑い6検体
令和2年度	10	ヒアリ・アカカミアリ・アルゼンチンアリ疑い10検体
令和3年度	6	アルゼンチンアリ疑い5検体 セアカゴケグモ疑い1検体
令和4年度 10月まで	176	ヒアリ・アカカミアリ疑い22検体 アルゼンチンアリ疑い153検体 セアカゴケグモ疑い1検体

特定外来生物対策においては、分布が拡大する前に早期に防除することが被害を防止する上で効果が高いとされています。このため、当研究所は、迅速な同定検査を行うことにより早期防除につなげ、県民生活の安定向上に貢献したいと考えています。今後も引き続き、環境生活政策課や県事務所と連携して、特定外来生物対策を行っていきます。

（執筆担当：生活科学部）

編集・発行

岐阜県保健環境研究所

〒504-0838 岐阜県各務原市那加不動丘1-1

TEL：058-380-2100 FAX：058-371-5016

URL：<http://www.health.rd.pref.gifu.lg.jp/>



ホームページもご覧ください